

コモディティ・アルファ戦略ファンド

追加型投信／海外／その他資産(商品)／特殊型(ロング・ショート型)

コモディティのロング・ショートでインフレへの備え
～コモディティ・アルファ戦略ファンドの革新性～

当資料(P1からP5)はモーニングスター株式会社のオンライン記事広告を三井住友DSアセットマネジメントが許可を得て販売用資料として転用したものです。
著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

三井住友DSアセットマネジメントが運用する「コモディティ・アルファ戦略ファンド」(以下、当ファンド)が2021年12月14日に新規設定された。インフレ時に価格が大きく動きやすいコモディティ先物の特性を捉えたロングポジション(買建て)に、商品指数先物のショートポジション(売建て)を加えることによって安定的な投資収益の獲得を目指すファンドだ。当ファンドの開発の意図と運用の特徴について、三井住友DSアセットマネジメント投信営業部の塩出景子氏と、実質的な運用を行っているパークレイズ・バンク・ピーエルシーのグループ会社であるパークレイズ証券金融商品営業部の武藤紗季氏に聞いた。

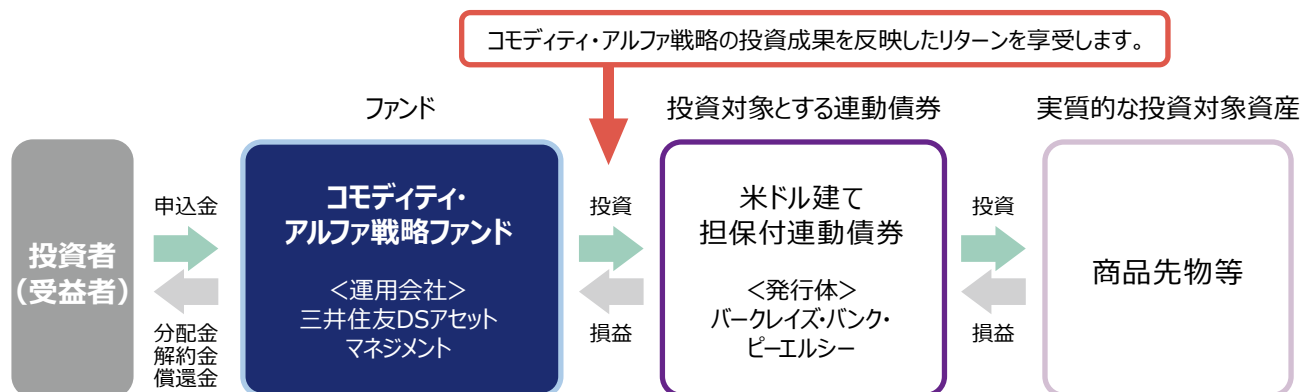
—「コモディティ・アルファ戦略ファンド」を設定した狙いは？

塩出氏：長く続いている低金利環境下で、株式や債券等の主要な資産への投資だけでは十分なリターンを獲得することが難しくなっています。また、経済活動が再開しつつあり、インフレに対する備えも必要となっています。

米国を中心に金利が上昇する方向にあると債券の運用で安定的な収益を獲得することは難しくなります。安定収益獲得の代替手段として、お客さまの投資資産のリスク分散の観点からも主要資産との相関が低いコモディティを資産ポートフォリオに加えていただきたと考え、設定いたしました。

パークレイズ・グループが提供している「コモディティ・アルファ戦略」(以下、当戦略)は、欧米の機関投資家の間ではインフレヘッジ手段の1つとして利用されています。また、主要資産との相関関係の低さと流動性から、ヘッジファンドの代替といったオルタナティブ(代替資産)枠での採用もあるそうです。そのような運用のプロが活用するコモディティ・アルファ戦略を、世界で初めて個人のお客さま向けの公募投信として提供することができました。

ファンドのしくみ



※連動債券の組入比率は、原則として高位を保ちます。

※コモディティ・アルファ戦略によるリターン(損益)は、同戦略に関する費用等を控除したものとなります。

MORNINGSTAR

本資料は投資判断の参考としてモーニングスターが情報提供しております。モーニングスターが提供するレーティング情報、コメント、データ等は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

—「コモディティ・アルファ戦略」とは？

武藤氏：コモディティ先物のロングポジションで工夫をこらしてインデックスにプラスアルファのリターンを目指すと同時に、23品目の商品を対象にした「ブルームバーク商品指数」をショートする「ロング・ショート」戦略を採用することで、市場の変動に関係なく「米国インフレ率プラスアルファ」の安定的な収益の獲得を目指しています。

(当戦略のモデルポートフォリオ) 実質的なロング・ショートのポジション比率

		2021年6月末		2021年9月末		
		品目名	実質的な ポジション比率	品目名	実質的な ポジション比率	(ご参考) 買建て限月
ロングポジション	バックワーカー 上位10品目	WTI原油	+4.7%	天然ガス	+7.9%	21年12月限
		天然ガス	+4.0%	WTI原油	+5.1%	22年 6月限
		ブレント原油	+3.8%	ブレント原油	+4.4%	21年12月限
		コーン	+2.8%	大豆油	+1.9%	21年12月限
		大豆	+2.5%	軽油	+1.8%	21年12月限
		大豆油	+1.9%	砂糖	+1.7%	22年 3月限
		砂糖	+1.4%	ガソリン	+1.4%	21年11月限
		ガソリン	+1.3%	灯油	+1.4%	21年12月限
		灯油	+1.2%	赤身豚肉	+0.9%	21年12月限
		赤身豚肉	+1.2%	綿花	+0.9%	22年 5月限
ショートポジション	その他の品目	綿花	-0.7%	カンザス小麦	-0.8%	21年12月限
		カンザス小麦	-0.7%	ニッケル	-1.1%	22年 3月限
		ニッケル	-1.2%	大豆ミール	-1.1%	22年 5月限
		小麦	-1.3%	小麦	-1.3%	21年12月限
		大豆ミール	-1.3%	亜鉛	-1.3%	22年 3月限
		亜鉛	-1.4%	銀	-1.4%	21年12月限
		軽油	-1.5%	生牛	-1.7%	22年 4月限
		コーヒー	-1.5%	コーヒー	-1.8%	22年 5月限
		生牛	-1.8%	大豆	-2.2%	22年 5月限
		銀	-1.8%	アルミニウム	-2.4%	22年 5月限
		アルミニウム	-2.2%	銅	-2.4%	22年 3月限
		銅	-2.7%	コーン	-2.4%	21年12月限
		金	-5.7%	金	-5.4%	21年12月限

※実質的なポジション比率は、プラスが実質的にロングポジション優位、マイナスが実質的にショートポジション優位となります。

※売建ては、ブルームバーク商品指数に合わせて、原則、期近を選択します。

(注) 実質的なポジション比率は、モデルポートフォリオの純資産総額を100%として計算しています。

(出所) バークレイズ

※モデルポートフォリオは2021年9月末現在の市場環境等に基づいて作成したものであり、実際のポートフォリオとは異なります。

※上記は過去のデータに基づくものであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

MORNINGSTAR

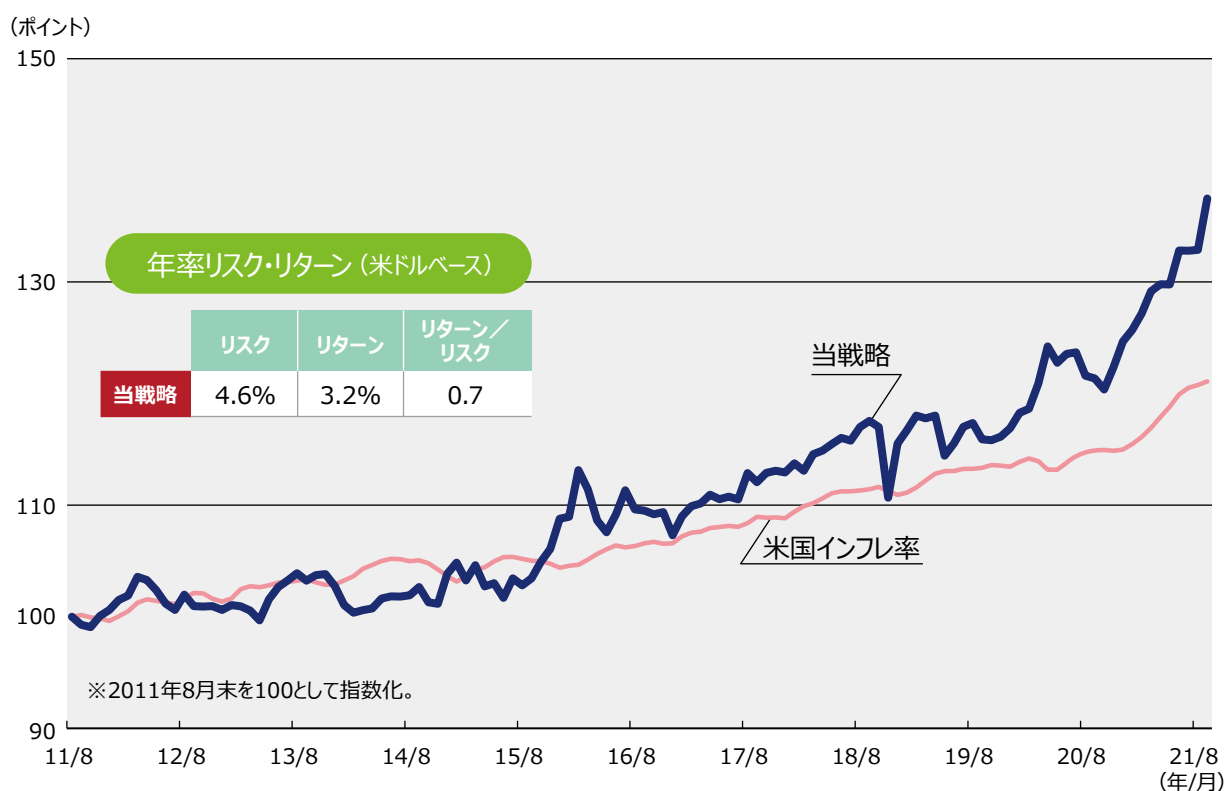
本資料は投資判断の参考としてモーニングスターが情報提供しております。モーニングスターが提供するレーティング情報、コメント、データ等は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

コモディティ市場は参加者の偏りが大きく、株式などの伝統的資産と比べて超過収益獲得の機会(価格の歪み)が生じやすい傾向があります。コモディティ先物市場は、生産者や原材料調達業者など実需家が多数存在する市場となっており、これら市場参加者はヘッジ目的・安定調達目的など、純粋なリターン獲得目的とは異なる目的で市場に参加しています。これら市場参加者のそれぞれの目的に基づく売買が価格に歪みを形成し、超過収益獲得機会が継続的に生み出されると考えられます。

コモディティ市場に顕著な「価格の歪み」に着目し、当戦略で採用する「バックワーデーション戦略」は、先物市場の限月が先に進む(期先になる)ほど価格が安くなるような現象が起こることを収益機会にします。また、「タームセレクト戦略」は、例えば、灯油などは冬の需要期に価格が上がる傾向があるので、先物の限月では12月頃に価格が高くなりやすいなどといった傾向を利用して収益機会にします。このようなロングポジションでインデックスを上回るポジションを作ることを目指します。

——ファンドのパフォーマンスは、経済環境によって成績が良くなる時と悪くなる時の傾向がありますか？

当戦略のパフォーマンス (米ドルベース)



(注1) データは2011年8月末～2021年9月末、月次。

(注2) 当戦略は、取引コスト等控除後、当ファンドの信託報酬(0.77%)控除後。米国インフレ率は、米国消費者物価指数、季節調整前。

(注3) リターンは、累積騰落率を年率換算。リスクは同期間の月次騰落率の標準偏差を年率換算。

(出所) Bloomberg、バークレイズ

※上記は類似ファンドの過去の実績であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※当ファンドは米ドル建ての連動債券を投資対象とし、為替ヘッジは原則行いません。従って当ファンドの基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ファンド購入時には購入時手数料がかかります。詳しくは最終ページをご覧ください。

MORNINGSTAR

本資料は投資判断の参考としてモーニングスターが情報提供しております。モーニングスターが提供するレーティング情報、コメント、データ等は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

武藤氏：当戦略は2011年8月以来の過去10年の運用実績があります。経済状況の変化によるパフォーマンスの変動には傾向があります。

- (1) インフレ高進時、コモディティ価格急上昇時(2021年が該当)は、急激なバックワーデーション等の大きな収益機会が生まれ高いリターンが期待されます。
- (2) 低インフレ時(2011年～14年)は、大きなリターンは期待しにくいと考えられます。
- (3) デフレ時(2015年、2020年など)は、先物指数ショートを通じた高いリターンが得られる形となり、またバックワーデーション戦略によるリターンも期待でき、合わせて高いリターンが期待されます。
- (4) デフレから低インフレもしくはインフレへと転換する局面(2016年)は、先物ショートを通じてショートしている期近ほど価格が上昇しやすいためマイナスリターンとなる可能性が高いと考えられます。

——2021年の運用成績は好調ですが、その理由は？

当戦略の年別パフォーマンス (米ドルベース)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	期間累計
	(%)											
当戦略	0.6	0.0	2.1	1.1	4.7	-1.4	5.2	2.3	1.2	6.6	10.3	37.5
米国インフレ率	-0.4	1.7	1.5	0.8	0.7	2.1	2.1	1.9	2.3	1.4	5.3	21.1
【ご参考】												
当戦略(円ベース)	1.2	12.5	24.1	15.1	5.1	-4.3	1.6	-0.4	0.2	1.4	19.0	100.2
商品指数(米ドルベース)	-14.4	-1.1	-9.5	-17.0	-24.7	11.8	1.7	-11.2	7.7	-3.1	29.1	-34.9
商品指数(円ベース)	-13.9	11.3	9.9	-5.5	-24.4	8.5	-1.8	-13.5	6.6	-7.8	39.3	-5.2

(注1) データは2011年8月末～2021年9月末、月次。2011年は2011年8月末～2011年12月末。2021年は2020年12月末～2021年9月末。

(注2) 当戦略は、取引コスト等控除後、当ファンドの信託報酬(0.77%)控除後。米国インフレ率は、米国消費者物価指数、季節調整前。商品指数はブルームバーク商品指数トータルリターン。

(出所) Bloomberg、パークレイズ

※ 上記は類似ファンドの過去の実績および過去のデータを基に算出されたパフォーマンスであり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ ファンド購入時には購入時手数料がかかります。詳しくは最終ページをご覧ください。

武藤氏：2021年(9月末まで)の当戦略のパフォーマンスは米ドルベースで10.3%の上昇と、過去10年間で最も良好なパフォーマンスとなりました。バイデン政権の大型経済対策、新型コロナウイルス感染拡大による供給制約や経済再開に伴う需要拡大などを受けてエネルギーや銅などの工業用金属などが大きく値上がりするとともにインフレ率も大きく上昇しました。これら大きく値上がりした品目のロングポジションから高いリターンを得るとともに、金利上昇懸念により上値の重い金・銀のショートポジションから高いリターンを獲得しました。

——実質的な運用を行っているパークレイズがコモディティの運用で優位にある理由は？

武藤氏：パークレイズは2002年からコモディティ指数に連動する商品の提供を幅広く行っており、現在50億米ドル* (約5,700億円) 程度の残高があります。2006年にはコモディティ指数関連として初の上場商品であるコモディティ指数に連動するETNを米国で上場しました。

*1米ドル=114.13円(2022年1月20日時点)で計算

——現在の金融環境は、「コモディティ・アルファ戦略」にとって追い風ですか？

武藤氏：現在の金融環境はインフレが進展し、FRB(米連邦準備制度理事会)の利上げが見込まれる環境です。脱炭素政策により化石燃料の供給が限定的となりエネルギー価格が上昇しやすい環境にあること、労働参加率が引き続き低迷して人件費が上昇していること、経済再開に伴う強い需要など高いインフレが継続する要素はまだ残っています。その場合には当戦略のもっとも得意な局面であり、追い風と考えられます。

一方、FRBの利上げによりインフレが急速に落ち着いたり、デフレとなるような場合においても、当戦略はリターンが期待される環境であり、現在の環境はどちらに転んでも追い風の環境と考えられます。

また、インフレヘッジということであれば、例えば金投資なども挙げられますが、金は通貨のような性質を持ちながら金利を生まない資産であるため、実質金利の上昇時にパフォーマンスが悪化する傾向にあります。現在、実質金利は歴史的に見て極めて低い水準にあり、今後利上げにともない実質金利が上昇してくると金のパフォーマンスは悪化が見込まれると考えられます。そうした比較感で見ても「コモディティ・アルファ戦略」は魅力的と考えられます。

——「コモディティ・アルファ戦略ファンド」の使い方のアイデアはありますか？

武藤氏：インフレを懸念している投資家さまやポートフォリオの分散を図りたい投資家さま、また、金利上昇に強く債券の代替となる安定的な運用を探している投資家さまに幅広くご検討いただきたいファンドです。今までになかったリスク・リターン特性を持ち、インフレ時以外も安定的なリターンが期待されることから長期で投資家さまのポートフォリオに組み込んでいただく意義のあるリスク・リターン特性であると考えています。

塩出氏：足元ではインフレへの備えとして是非ご活用いただきたいファンドです。日本では長らくデフレが続いていましたので、インフレに対する備えがまだ不足しているお客さまも多くいらっしゃると思います。まずは当ファンドでインフレへの備えをしていただきたいです。

また、主要資産含め幅広い資産との相関が低いので、様々な資産と併せ持ちしていただくと分散効果が高まるといえます。ここ数年の米国ハイテク大型株式の値上がりで、国内の投資家の方々には北米株式の投資比率が相対的に高くなっていると思います。株式との相関の低い「コモディティ」を資産の一部に加えていただくことで、株価変動のリスクを一部緩和することが可能になると考えられます。

現在、公募ファンドでは金や原油のETFなどは存在するものの、商品先物を構成する23品目それぞれの特有の歪みに着目し、安定的な超過収益を目指す当ファンドのような商品は非常に限られています。今までにない新しい分散効果を投資家さまに提供できると考えています。そのような観点からも、是非、ご検討いただきたいファンドです。

※ 上記は過去の実績および当資料作成時点の見通しならびに運用方針であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。見通しおよび運用方針は今後、予告なく変更する場合があります。

MORNINGSTAR

本資料は投資判断の参考としてモーニングスターが情報提供しております。モーニングスターが提供するレーティング情報、コメント、データ等は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

ファンドの特徴

1. 「コモディティ・アルファ戦略* (以下「本運用戦略」ということがあります。) の投資成果を反映する担保付連動債券(米ドル建て)に投資します。

*バークレイズ・バンク・ピーエルシーが提供する戦略をいいます。本運用戦略によるリターン(損益)は、同戦略に関する費用等を控除したものとなります。
 ※投資対象とする担保付連動債券はバークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行しますが、担保は担保資産会社で分別管理する等の倒産隔離措置が取られています。詳細は下記の「追加的記載事項」をご覧ください。

2. 本運用戦略では、商品先物取引を活用し、ロングポジション(買建て)およびショートポジション(売建て)を同額程度組み合わせ、安定的な収益の確保を目指します。

3. 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

追加的記載事項

投資対象とする連動債券の概要

発行体	バークレイズ・バンク・ピーエルシー
発行形態	米ドル建て担保付パフォーマンス連動債券
連動対象	<ul style="list-style-type: none"> ●原則として、「コモディティ・アルファ戦略」の値動きに概ね連動します。 ※「コモディティ・アルファ戦略」は商品市場の多様な品目を投資対象とし、同市場の特性に基づいた収益機会を定量的に判断し、各品目の先物ロング・ショートポジションを構築することにより当該収益機会を獲得することを旨とする戦略を指数化したものです。 ●為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
利払い	なし
信用格付け	連動債券:取得していません。 発行体:ムーディーズ A1/S&P A
担保について	<ul style="list-style-type: none"> ●連動債券の担保は債券、新興国を含む株式等と多岐にわたりますが、日次で洗い替えされます。連動債券は発行体から分別管理された担保を有する担保資産会社(Barclays Secured Notes Finance LLP(以下、BSNF LLP))による支払保証によって担保価値の範囲内で信用補完されています。BSNF LLPは倒産隔離された特別目的会社です。 ●連動債券の担保は各証券毎に一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に則った比率で構成されています。

ファンドのリスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。
 - 価格変動リスク(商品(コモディティ)に関するリスク)、●連動債券に関するリスク、●信用リスク、●為替変動リスク、●カントリーリスク、●流動性リスク等があります。

※詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の投資リスクをご覧ください。

お申込みメモ (詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)



購入・換金の 申込受付日	原則として、申込不可日を除きいつでも購入・換金のお申込みができます。
購入単位	<分配金受取りコース> (新規申込) 1,000万口以上1万口単位 (追加申込) 1,000万口以上1万口単位 <分配金再投資コース> (新規申込) 1,000万円以上1円単位 (追加申込) 1,000万円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	<分配金受取りコース> 1万口以上1万口単位 <分配金再投資コース> 1万円以上1円単位または1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込不可日	以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ● ニューヨークの銀行の休業日 ● ロンドンの銀行の休業日 ● ブルームバーグ商品指数が算出・公表されない日
決算および 分配	年1回(毎年11月30日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。 <分配金受取りコース> 原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。 <分配金再投資コース> 原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。 再投資を停止し、分配金のお受取りを希望される場合はお申し出ください。 ※なお、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
信託期間	2031年12月1日まで(2021年12月14日設定)
繰上償還	当ファンドが主要投資対象とする連動債券が発行されないこととなったときには、繰上償還します。 また、以下の場合には、繰上償還をすることがあります。 ● 繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき ● 残存口数が30億口を下回るようになったとき ● その他やむを得ない事情が発生したとき
課税関係	● 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ● 公募株式投資信託は税法上、NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象ですが、SMBC日興証券でのお買付にあたっては、購入単位の関係上、当該制度は適用対象外となります。 ● 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

ファンドの費用（詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

①投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入時手数料は、お申込代金／お申込金額に応じて、下記のように変わります。				
	お申込代金／お申込金額	1億円未満	1億円以上5億円未満	5億円以上10億円未満	10億円以上
	分配金受取りコース お申込代金に応じて	3.85%	1.65%	0.825%	0.55%
	分配金再投資コース お申込金額に応じて	(税抜き3.50%)	(税抜き1.50%)	(税抜き0.75%)	(税抜き0.50%)
<p>お申込代金=購入価額×購入申込口数 お申込金額=(購入価額×購入申込口数)+購入時手数料(税込み) ※分配金再投資コースの場合、分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。</p>					
信託財産留保額	ありません。				

②投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.77%(税抜き0.7%)の率を乗じた額
その他の費用・ 手数料	<p>以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ●資産を外国で保管する場合の費用 等 <p>※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※購入・換金単位および購入時手数料については、SMBC日興証券が別に定める場合はこの限りではありません。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図等を行います。)
受託会社	株式会社SMBC信託銀行(ファンドの財産の保管および管理等を行います。)
販売会社	SMBC日興証券株式会社(ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。)

【重要な注意事項】

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書(交付目論見書)と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)が優先します。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に評価機関等の評価が掲載される場合、当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2022年1月20日

【お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は】



SMBC日興証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号
加入協会：日本証券業協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【設定・運用】



三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

0120-88-2976

受付時間:(土、日、祝休日を除く)9:00~17:00